

・石川県卓越技能者表彰「百万石の名工」被表彰者一覧

※（所属）は受賞当時のもの

受賞 年度	職 種	氏 名 (所 属)	功績・技能の概要
H26	和服仕立職	山村 紀美枝 (山村きもの教室)	和服全般に精通し、特に模様合わせの技能に優れており、業界で高い評価を得ている。また、延べ100人程の生徒に指導を行い、技能検定員も務めるなど技能水準の向上に貢献した。
	石積工・石彫工	出口 昭 (株式会社出口石材)	古代灯籠の加工などにおいて優れた技能を有し、金沢城址公園の石垣修築にも従事した。金沢職人大学校で永年にわたり講師を務め、若者への技術の継承に尽力した。
	宮大工	佐田 秀造 (有限会社南建築)	屋根・小屋組み部材の木割や斗組(ますぐみ)において卓越した技能を有し、金沢城復元工事にも携わった。職業訓練校では講師として、学科・実技の指導を行い多くの優秀な建築大工を輩出した。
	タイル張工	輪崎 健司 (株式会社輪崎タイル)	タイルの密着張り(ヴィブラート工法)の導入により、タイルの剥離防止を可能とし、メーカーと連携してこの工法の普及に尽力した。また、職業訓練校で講師を務め、多くの技能士養成に尽力した。
	造園師	田中 一郎 (株式会社伏見園)	地域の景観を重視した庭の築造・保存に努め、自然の姿を重視した作庭は大いに評価されている。また、金沢職人大学校設立当初から講師を務め、技術の継承に貢献している。
	建築板金工	内尾 孝夫 (内尾建築板金)	伝統的工法である鉛瓦葺き工法において優れた技能を有しており、金沢城修復工事に職長として携わった。また、復元工事マニュアルを作成し、多くの職人を指導している。
	日本料理調理人	宮川 務 (有限会社みや川)	懷石や加賀の大名料理において豪華さと優雅さを引き出す技術・技能に優れ、業界で高い評価を得ている。また、調理師専門学校で日本料理講師を務め、後進技能者を指導育成している。
	溶接工	宮越 幸一 (株式会社小松製作所)	溶接業務に必要な幅広い技能と知識を有し、新工法の発案や、業務の改善に貢献している。また、溶接基本作業書の作成に携わるとともに、工場内約100名の溶接工の指導育成に取り組んでいる。
	帆布製品製造工	西川 次雄 (株式会社第一テント商会)	帆布製品の製造に60年以上携わり、技術・知識ともに優れ、裁断・縫製加工方法においては、独自の方法を生み出した。また、技能検定委員を務めるなど、後進への技術伝承に尽力している。
	機械組立工	灘地 康生 (高松機械工業株式会社)	工作機械分野の組立において、優れた知識・技能を有し、新製品の開発や、作業効率の向上に貢献した。また、技能検定委員を務め、モノづくり人材の育成に努めている。
	美容師	泉崎 富子 (有限会社ワイスベっぴん)	感性に富んだ進歩的なヘアスタイル製作並びに、和装着付けの技能に卓越している。また、北陸アーティストアカデミー美容職業訓練校を設立し、後進の指導・育成に寄与している。

受賞 年度	職 種	氏 名 (所 属)	功績・技能の概要
H27	左官	平野 甚九郎 (株式会社イスルギ)	左官の伝統工法に優れた知識・技術を有し、城壁工事特有の揚裏波形部における中塗り・上塗り作業の第一人者である。また、金沢職人大学校において講師として左官技術の伝承に尽力をしている。
	木製建具製造工	中島 修治 (橋本建具製作所)	建具製作において板のはぎ合わせや古色に優れた技能を有し、県指定文化財である本願寺金沢西別院などの伝統的な建造物の修復を数多く手がけた。また、建設共同高等職業訓練校等において指導員、講師を務め若者に対し伝統的な技術を熱心に伝えている。
	造園師	山名 洋一 (株式会社山名造園)	造園業に従事し、特に石積みにおいて卓越した技能を有し、戸室石を用いた野面積みにおいて第一人者であり、金沢城玉泉院丸庭園の石積み工事において中心的な役割を果たした。また、金沢職人大学校において講師を務め伝統的な技術の継承と後進の育成に尽力している。
H28	紙器製造工	大平 邦久 (大平美術紙器)	機械貼りが主流となる中、手貼りにこだわり、重箱や飾りのある箱など形態の違う特殊な箱の製作を多く手がけ、歪みの起こりにくい張りのある仕上げに優れた技能を有している。紙器工業組合設立当初より組合員に対し技術面・経営面等の指導を行っている。
	組立工	久保 均 (株式会社小松製作所)	図面を元に迅速かつ正確な組立技能を有している。また、永年の業務で培った感覚によってあらゆるボルトを均一に締め付ける優れた技能を有している。社内技能集団の構築に貢献し、組立部門の技能士資格保有率の向上に向けた技術指導に務めている。
	表具師	永嶋 明 (錦芳堂)	屏風や掛け軸の制作において優れた技能を有し、特に屏風製作における金箔・銀箔など箔を使用した技法に熟練した技能を有している。平成14年より金沢職人大学校の講師を務め、技能の継承に努めている。
	内装仕上工	林 富雄 (有限会社北装)	床作業のWステッチ工法において優れた技能を有し、いしかわ総合スポーツセンターなど公共施設での塩化ビニルタイルによるデザイン貼りや壁面どんす張りなど多く手がけている。内装仕上技能士会会長として若手を対象とする技能講習会を毎年開催し技能士の育成に努めている。
	石工	明地 幸雄 (明地石材)	大きな岩石に矢穴を掘り、鎚と楔で石を割る石割の技能に卓越している。金沢城公園整備工事では、石川橋、内川堀、河北門、鯉喉櫓台、橋爪門の工事において中心的な役割を果たした。H8年より金沢職人大学校において講師を務め、伝統的な技術の継承に永く努めている。
H29	造園師	市村 富五 (有限会社市村造園)	自然樹形の美しさを活かしつつ、藩政時代から伝わる剣先剪定法で作り出す端正な樹形に定評がある業界の第一人者である。作庭では、加賀流の作庭技術を守りつつ、自然の姿を重視した作庭を得意とするほか、巨木の移植や機械が入ることができない場所での灯籠等の設置・移設に卓越した技能を有している。
	和裁仕立職	井表 登喜美 (井表和裁)	訪問着、留袖、振袖など全体で一つの絵柄を構成する絵羽物の柄合わせや小紋等の柄の配置が高く評価されており、用途に沿った仕立てにも豊富な知識を有する県内第一人者である。石川県和裁師組合幹事、常任幹事、会計、副組合長、常任相談役の要職を27年にわたり歴任し業界の振興に寄与している。
	建築大工	中村 清光 (清光建築)	多くの伝統工法木造建築、社寺建築の施工に携わり特に茶室など数寄屋建築に優れた技能を有し、様々に変形する木の性質や個性を見抜く技能をもって精度の高い施工の実績を積み重ね、業界第一人者との評価を受けている。また、平成20年より金沢職人大学校の講師を務め、技能の継承に努めている。

受賞 年度	職 種	氏 名 (所 属)	功績・技能の概要
H30	造園師	磯野 進吾 (株式会社進樹園)	加賀流の伝統を守りつつ細部まで配慮した庭造りを得意とし、金沢城玉泉院丸庭園の松の植栽で高い評価を得るなど伝統的庭造りの県内第一人者である。また、バラの管理においても卓越した技能を有している。平成元年から石川県造園業協同組合の要職を歴任し、現在は相談役として業界の振興に尽力している。
	清酒製造工	家 修 (株式会社小堀酒店)	清酒の醸造技術の向上のため日々精進・研鑽し、濃醇で飲み飽きのしない旨口の「能登流」の酒造りに卓越した技能を有し、金沢国税局酒類鑑評会優等賞、全国新酒鑑評会金賞受賞など数々の受賞を重ねる清酒醸造の県内第一人者である。
	旋盤工	栗林 隆 (株式会社小松製作所)	ブラズマ溶射という特殊な加工がなされた金属部品の旋盤加工に卓越した技能を有する県内第一人者である。また、自身の優れた技能を継承するため、社の内外を問わず積極的に技術指導を行い、後進の指導育成に尽力している。
	日本料理調理人	下代 康久 (ホテルききょう)	伝統的な加賀料理を伝承しながら、調理技術の向上と技能の研鑽に熱心に取り組む、全国大会にて上位入賞を果たしたほか、身近な野菜を用いた装飾細工や作業に集中力と細やかな技能を要するアイスカービングにも優れた技能を有する県内第一人者である。
	木製建具製造工	竹田 忠司 (竹田タテグ)	伝統的な組子製作に卓越した技能を有しており、金沢城公園整備工事の河北門、橋爪門の修復では史実に基づいた精度の高い建具製作を行うなど業界第一人者である。 平成22年から石川県建具協同組合理事に就任し、現在は副理事長として、若手に対し技術指導を行うなど業界の振興、後継者の育成に尽力している。
R元	木製建具製造工	岡野 繁 (岡野建具工芸)	伝統的な組子製作に卓越した技能を有しており、全国建具展示会においても優秀な成績を収めている。金沢城公園整備工事においても河北門の復元指導、監理に携わり伝統的な技能の継承に努めている。 また、平成24年から毎年地元の小中学校等へ出向き、講演と組子製作などの指導を熱心に行っている。
	建築板金工	上出 順司 (上出建築板金)	我が国の伝統的工法である鉛瓦葺き工法、銅板壁面化粧張り工法の伝承者の一人であり、特に「鉛鬼技能」に卓越している。金沢城公園整備工事に継続して参画しており、鼠多門工事に職長として携わり技能を発揮している。 また、登録建築板金基幹技能者のトレーナーとして講習会講師を務め業界の技能向上に貢献している。
	畳工	立野 克典 (畳 立野)	畳の採寸法で、全国的にも忘れ去られつつある「掛歪法」を理論的に理解し、実施できる数少ない職人である。「手縫い畳床」製作の技術を駆使し、重要文化財「成巽閣」など多くの歴史的建造物の畳工事を担当している。 平成13年から金沢職人大学校において、畳製作の講師を務め、技能の継承に努めている。
	機械修理工	吉田 英樹 (株式会社小松製作所)	工作機械の修理・点検整備業務に長年従事しており、幅広い知識と技能を保有し、特に工作機械故障の修理技能・予防保全技能、産業ロボットの修理調整技能等に優れている。保全作業者のバイブルである「保全基本作業書」の作成及び改訂に携わり、後継者の育成に尽力している。

受賞 年度	職 種	氏 名 (所 属)	功績・技能の概要
R2	和服仕立職	今西 恒 (今西きもの仕立研修所)	着やすく美しい出来栄えの着物製作を信条とし、子ども用着物の仕立てを得意とするほか、染め上がった反物を作家の意図する絵柄になるように仕立て上げる柄合わせに卓越した技能を有する第一人者である。
	内装仕上工	岩田 昌成 (I. I. INTERIOR株式会社)	仕上がり丁寧さと作業の早さでは抜群の評価を得ており、カーペット張りに際し、縫(よ)れを防ぐために考案した独自工法は、全国のカーペット技能士に高く評価され、多数の現場で採用されるなど、卓越した技能を有している。
	造園師	中村 茂好 (有限会社向瀬造園)	江戸時代から受け継がれる日本庭園最高の技法の一つと言われる「水琴窟」作庭の第一人者である。作庭では、伝統的な日本庭園を守りつつ、雪国独特の根反の赤松と雑木とのバランスを考慮した「自然風の庭」は、豊かな四季を感じさせると評価も高い。
	建築大工	宮本 修一 (宮本建築)	歴史的建造物の修理・修復に卓越した技能を有しており、金沢城公園の復元整備では、第1期より携わり、城郭建築の各部の構造等習得し、その知識や技能を第2期以降の整備工事に生かした。
R3	日本料理調理人	下代 隆士 (株式会社のと楽)	革新的な日本料理を生み出しており、特に、鮮魚を非常に薄く、かつすべて均一の厚さに切るという薄造りの技能や、塩に何種類もの色粉を巧みに組み合わせ、葉や花などを作り出す焼塩細工の技能、食材に緻密で多様な細工を行う装飾細工の技能において卓越している。
	自動車板金工	野崎 学 (有限会社ノザキ钣金塗装)	板金及び塗装の両技能を有した数少ない技能者の一人として、高く評価される。板金作業においては、通常では部品交換が必要となるような破損車両であっても、ハンマーで叩くことで元の状態に整形することに卓越し、また、塗装作業においては、短時間で、かつ使用する塗料を少量とし、完了させることを得意とする。
R4	さく井・ボーリング機械運転工	石崎 和幸 (株式会社ホクコク地水)	さく井工事の職長として、これまで数多くの鉄道関連事業や水道用水源事業等、数多くの条件が厳しい現場を経験。そこで培った知識・経験を活かして若手社員を教育するなど、1級さく井技能士の育成にも貢献している。
	日本料理調理人	宇小 藤雄 (株式会社加賀屋)	一切食材に触れることなく行いう式包丁の技能や、絶妙な力加減によって食材を傷めることのない技能の第一人者であり、その技能を活かして河豚資格者試験の準備講習会の講師を長年務めるなど、人材育成にも尽力してきた。
	建築大工	小阪 広行 (小阪建築)	これまで社寺建築の施工実績を積み重ね、卓越した技能を発揮してきたほか、技能グランプリに複数回出場し、平成10年には、技能努力賞を受賞するなど、技能士の社会的地位の向上等にも貢献してきた。また、建設共同高等職業訓練校等において指導員、講師を務め、優秀な建築大工を多く育て上げている。
	造園師	谷 孝一 (有限会社谷造園)	樹種の自然樹形の美しさを表す剣先剪定法や伝統美を創出した樹木の雪吊り「りんご吊り」と技法を用いて、自然の姿を重視した美しい庭を数多く作ってきたほか、石川県造園業協同組合の理事長等を歴任し、金沢職人大学校主任講師や技能検定委員などを務めるなど、業界の発展にも大きく貢献している。
	アーク溶接工	宮崎 浩一 (株式会社小松製作所)	建設機械の溶接において、フレームの歪みが発生しない新発想技能の構築により、溶接の歪み取り時間を大幅に削減した実績を持つ。またそういった知識・経験を活かして、若手社員への実技指導を積極的に実施し、毎年多くの社員を合格に導くなど、人材の育成にも大きく貢献している。

受賞 年度	職 種	氏 名 (所 属)	功績・技能の概要
R5	婦人・子供服 仕立職	酒井 啓子 (酒井啓子洋裁教室)	洋服仕立職人の裾野を拡大するため、自ら洋裁教室を営み、多くの生徒を指導してきたほか、着物の生地を組み合わせた洋服を製作するという独自の卓越した技能を活かして、ファッションショーなどのイベントで観客を魅了し、数多くの賞を受賞するなど、石川県の洋裁職人の地位向上に大きく貢献している。
	建築大工	長尾 吉一 (長尾建設)	建築大工として、社寺や数寄屋建築の技術を身に付け、神社などの歴史的建造物の修復工事を数多く請け負うほか、金沢市立工業高校建築科の講師として生徒を指導するなど、後進の指導・育成にも積極的に取り組んでいる。
	建築板金工	山本 政博 (株式会社山一鋳工所)	我が国の伝統的工法である鉛瓦葺き工法の技能に卓越しており、金沢城復元工事に用いられる「鉛鬼技術」を習得している数少ない技能者として、現在行われている金沢城の三十間長屋保存修理工事に携わっているほか、技能検定委員を務めるなど、業界の発展に貢献している。
R6	左官	銭丸 肇次 (株式会社イスルギ)	左官技術では、珪藻土を使用した塗り壁やセメントをベースとしたポリマー系補修材を用いる現代的工法に加え、伝統的左官工法による神社仏閣での左官工事にも卓越した技能を有しており、金沢城等歴史的建造物も多く手掛けている。
	木製建具製造工	中居 克彦 (平野建具店)	三つ組手等菱組子を基調とした組子作業に精通し、精細な建具を手加工で製作する技術を有するとともに、最新の材料、素材を使いこなす卓越した技能を有し、新しい製品を生み出している。金沢城復元工事では菱櫓工事の建具製造取付に加わり、以後の工事では若手職人に知識と技能を指導している。
	建築大工	山城 久明 (山城建築工房)	昭和56年に、山城建築工房を創業し、主に一般住宅の元請として、設計から施工までを手掛けている。平成6年頃からは、特に伝統的建造技術を必要とする建物の修復に力を注ぐようになり、その卓越した技能により、加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区の建物の修復を数多く手掛けている。
R7	清酒製造工	岡田 謙治 (株式会社車多酒造)	能登杜氏「四天王」の一人、名杜氏「中 三郎」の下で長年にわたり師事し、中杜氏の能登杜氏流「山廃仕込み」を継承し、長年培った知識、技能を応用して独自の酒造りを確立した。更に、能登杜氏の技術の向上と後継者育成に尽力した。
	造園師	武原 俊彦 (武原造園)	自然を重視した古来よりの日本庭園はもとより、周辺の環境と調和した現代風な庭園も得意としている。先人の教えを手本として日々、技術と技能の研鑽に励む傍ら県内外で開催される作庭コンテストにも精力的に参加し、色々と見聞を広めることで表現力や想像力の習得にも力を注ぎ技術と技能に磨きをかけてきた。
	日本料理調理人	中里 知 (旬彩和食 口福)	日本料理に40年以上に亘り従事し、平成21年からは自身がオーナーを務める日本料理店「旬彩和食 口福」を開業し、金沢市近江町市場の中で更なる研鑽を積んできた。平成19年第24回技能グランプリ3位の実力をもって、現在まで技能五輪全国大会の出場・受賞を目指す約50名の若手調理人の育成に尽力した。